

**雨のパレード、サイダーガール、SHE 'S、yonigeが
過去のLIVE HOLIC出演バンド・SUPER BEAVER、
Nothing's Carved In Stone、UNISON SQUARE GARDENと激突！
「LIVE HOLIC extra」Vol.2開催！**



photo:岸田哲平、Viola Kam (V'z Twinkle)

日本最大の音楽専門チャンネル「スペースシャワーTV」と、ぴあとKDDI (au) が手がける直感エンタメサイト「uP!!!」が主催するライブイベント「uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC supported by SPACE SHOWER TV」。本イベントは、“今”の日本の音楽シーンになくてはならない圧倒的存在感を誇るアーティストによる2マンイベントとして日本全国を巡っており、過去には札幌、福岡、名古屋、岡山、東京、大阪、仙台、高松、新潟、広島で実施して参りました。そんな「LIVE HOLIC」が、2018年の幕開けと共に全国5箇所にて開催。高松、福岡、大阪、岡山公演では、過去に後輩として出演したバンドが今度は先輩として期待の新星と対決。そして昨日2月12日(月)、その新星のファイナルステージとして、東京・新木場STUDIO COASTにて、ここでも過去のLIVE HOLIC出演バンドとの熱戦を繰り広げました。つきましては、その模様をライブレポートおよびライブ写真素材としてお送りいたしますので、是非貴媒体で取上げていただけますと幸いです。

なお、この2DAYSの模様は、4月13日(金)にスペースシャワーTVにて特別番組としてオンエア致します。一度聴いたら離れられない…そんな中毒性を孕んだライブは必見です！

＜イベント概要＞

「uP!!!SPECIAL LIVE HOLIC supported by SPACE SHOWER TV」

開催:2018年2月12日(月) OPEN13:00/START14:00

会場:新木場STUDIO COAST

LIVE ACT:雨のパレード / サイダーガール / SHE'S / yonige

GUEST LIVE BAND(from LIVE HOLIC):SUPER BEAVER、Nothing's Carved In Stone、UNISON SQUARE GARDEN

イベント公式サイト <http://www.spaceshowertv.com/liveholic/> (WEB/MOBILE共通)

**「uP!!! SPECIAL LIVE HOLIC extra Vol. 2」の模様を
スペースシャワーTVにて、4月13日(金)21:30~23:00放送決定！！**

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社スペースシャワーネットワーク コンテンツマーケティング部

TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215 担当:中澤久美子 knakazawa@spaceshower.net

<ライブレポート>

2018年早々から、高松、福岡、大阪、岡山で行われた先輩、後輩バンドによるガチンコのツーマン・ライブ・シリーズ、LIVE HOLIC。そこに出演した若手バンドが一堂に会した「uP!!! SPECIAL LIVE HOLIC extra vol.2 supported by SPACE SHOWER TV」が2月12日、新木場STUDIO COASTで開催された。ライブ猛者とのツーマンという武者修行的ライブを経てきたのは、雨のパレード、サイダーガール、SHE'S、yonigeの4組。そこに、過去にLIVE HOLICに出演したSUPER BEAVER、Nothing's Carved In Stone、UNISON SQUARE GARDENがゲストとして招かれて、総勢7バンドによる、なかなかない組み合わせのイベントが実現した。チケットはソールドアウトし、トップバッターを務めるサイダーガールから会場は満員で、観客の期待感がフロアの温度を上昇させていた。

大阪でサイダーガールと対バンをした04 Limited Sazabysが、VTRでバンドを呼び込むという粋な計らいで、ステージへと登場したサイダーガール。04 Limited Sazabysからの「俺らとやったときは微炭酸だったけど、いっぱい振っておいたから。頭からぶしゅーっとやってくれるはず」という愛のあるゲキをもらい、「エバグリーン」「ドラマチック」と疾走感の高い曲で観客の手をあげさせる。Yurin(Vo/Gt)は、「04 Limited Sazabysにはライブでボコボコにやられた、でもめちゃくちゃかっこよかった」とエネルギーを注入されたことを語り、後半はフジムラ(Ba)と知(Gt)がステージの先端で身を乗り出して勢いを加速させた。荒々しくも爽快に、汗をほとばしらせる爆発感が1番手にふさわしい。スペシャの番組「チュートリアルの徳ダネ福キタル♪」のアシスタントVJ・菅沼ゆりがMCを務めるトークコーナーなどを挟み、続くアクトはSUPER BEAVER。サウンドチェックから本番さながらのパワーで盛り上げ、本番も、一瞬にして会場全体を味方につけてしまう。ロックからパンク、ラウドシーンからも引く手数多の、吸引力の高い“ライブ”を見せつける。「今日は、“ゲスト”っていう超かっこいい立ち位置でやってきました。……慣れないって」と笑う渋谷龍太(Vo)。結成14年目を迎えバンドとしてはしっかり脂が乗りながらも、「気合いとか根性とか、そういう暑苦しいのが大好きだ」と言って汗と涙のしみた歌を響かせ、「青い春」「人として」と観客のシンガロングを指揮する。力強くフロアを抱きしめるようなライブは、この4人の真骨頂だろう。

続いて登場した雨のパレードは、そこまでのエネルギーな陽のパワーとは一転した独自の空気やグルーヴを生み出した。都会的なソウル、R&Bの香りと甘美なシューゲイザーが入り混じり、じわりじわりと低温火傷させていくアンサンブルに、フロアが酔いしれていく。「みんなで深いところまで、潜ってみませんか」。福永浩平(Vo)の言葉で、「epoch」からよりディープに耽美な音の迷路に誘う。デジタルクワイア的なエフェクティブなヴォーカルが心地好い。「素敵な先輩、素敵な仲間と戦えて嬉しい」(福永)。そう言って、ラストは3月にリリースされるアルバムから新曲「MARCH」を贈った。次にバトンを受けたNothing's Carved In Stoneは2014年7月に行われた、記念すべきLIVE HOLIC第1回のアクトだ(後半に出演するUNISON SQUARE GARDENとのツーマン)。「あの日の熱狂があって、ここまでLIVE HOLICが続いたのかなと自負している。面白くないきゃ、こういうイベントは続かないからね」と村松拓(Vo/Gt)。歴史の一步目を刻んだライブから4年、イベントは新世代のバンドへと繋がって枝葉を広げていることが、この一言からもわかる。自負はあると言いつつ、いやそれだからか、“圧倒”というほかないパワーで、壮大な音のタペストリーを編み上げて、スタジオコートを瞬時に熱狂させる。ニュー・アルバム「Mirror Ocean」から新曲「Mythology」も披露し、進化を続けるロックモンスターぶりを見せた。

LIVE HOLIC初の女性ヴォーカルのバンドとなった、yonige。のっけから、「さよならアイデンティティー」「アボカド」と、ヒリヒリとしたリアルな痛みと毒っ気が混じったキラチューンを連投。しれっとボーカルフフェイスでいて、フロアを揺らすキャッチーさ、心をまっすぐ射抜くポップさがいい。後のトークコーナーで、じつは緊張していたと語った牛丸ありさ(Vo/Gt)とごっきん(Ba)だが、「LIVE HOLIC後半戦、楽しんでますか。あと2曲やって、帰ろうと思います。ごっきん、何かいうことある？」(牛丸)、「マジでなんもない」(ごっきん)と平熱なMCでの佇まいと、楽器をかき鳴らした瞬間にグイッとスイッチが入るギャップが面白い。切なさをバーストさせたラスト「最愛の恋人たち」の轟音と、その痺れるような余韻に大きな歓声が湧いた。続いては、UNISON SQUARE GARDEN。「今日は先輩として呼ばれたので、先輩風吹かしてやろうと思って、肩で風切って楽屋に行ったら、大先輩のNothing's Carved In Stoneと同じ楽屋でした」(斎藤 宏介/Vo&Gt)と言って観客を笑わせつつ、興奮で息をするのも忘れてしまうくらいの怒涛の展開とスペクタクルなアンサンブルで魅せるステージが、最高だ。スリリングな3ピースの音の駆け引きやプログレッシブな展開に、観客が前のめりで食らいついている。ニュー・アルバム「MODE MOOD MODE」から「君の瞳に恋してない」、そして「Invisible Sensation」「天国と地獄」と曇り掛けた後半は、そのフロアから立ち上る熱や興奮が目に見えるようだった。

そして「LIVE HOLIC extra vol.2」のトリを務めたのは、大阪出身のピアノロック・バンド、SHE'S。これだけのアクトの演奏を受けてステージに立つのは相当なプレッシャーもあったと思うが、「今回のイベントの最後が、後輩のバンドで終わるというのはちゃんと意図があることなんだと思う」(井上竜馬/Vo)と託されたバトン・想いを背負っていく気概が、スケール感のある演奏に映っていた。「Un-science」「Freedom」の高揚感、重厚なクライマックス感のあるアンサンブルで聴かせた「Ghost」、自然とフロアのハンドクラップやシンガロングが生まれる「Over you」「遠くまで」と、多幸感あふれるサウンドで会場を包み込んだ。アンコールに立ったSHE'Sは、「今度は先輩バンドとして、ステージに立てるように音楽を続けて、このイベントも続いていきますようにと願いを込めて」と「Curtain Call」を歌った。頼もしい言葉と、音楽にこれからへの期待が募る。それぞれのバンドの今と、イベントとしての成長も感じる一夜となった。

このライブの様子は、4月13日(金)21:30~23:00、スペースシャワーTVにて放送されるので必ず目撃してほしい。

◆text: 吉羽さおり

◆photo: 岸田哲平→雨のパレード / サイダーガール / SHE'S / yonige

Viola Kam (V'z Twinkle)→ SUPER BEAVER / Nothing's Carved In Stone / UNISON SQUARE GARDEN

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社スペースシャワーネットワーク コンテンツマーケティング部

TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215 <http://www.spaceshowertv.com/>

担当: 中澤久美子 knakazawa@spaceshower.net